

別紙

平成17年度林業機械化推進シンポジウムの開催について

- 1 **テーマ** 「多様な森林づくりと循環型地域社会の形成に向けて－高性能林業機械の活用と可能性－」

2 **趣旨**

林業の経営意欲を高めつつ森林の多面的機能を持続的に発揮させていくため、高齢級間伐等による長伐期林の造成や立地条件等に応じた複層林、針広混交林等への誘導など、多様な森林づくりに向けた施業の推進が求められている。

また、このような施業により生産される間伐材や林地残材・土場残材等を木質バイオマスとして有効に利用するための技術開発や実用化に向けた取組も進められている。

こうした状況の下、林業の再生を図り、活力ある循環型地域社会の形成に資するためには、多様な森林づくりに向けた施業の推進に合わせた効率的な機械作業システムの導入や木質バイオマスの特性に応じた低コストな収集・輸送システムの確立等を通じて生産性の向上を図るとともに、森林環境への負荷を低減させることが課題となっている。

そこで、このような課題に対して独自の工夫により取り組み、高性能林業機械等を活用しながら低コストで効率的な非皆伐施業を実施したり、木材生産等と連携して木質バイオマスの利用を進めるなど、実践的な成果を挙げている森林組合や林業事業者等の事例を紹介するとともに、意見を交換し、今後の施策等の参考とする。

- 3 **日時** 平成18年2月24日（金）14:00～17:30

- 4 **場所** 農林水産省7階講堂

5 **次第**

- (1) **林野庁長官挨拶**（14:00～）
(2) **講演** 高知大学農学部森林科学科 教授 後藤 純一（14:10～15:10）
・ 演題「木材生産の活性化と木質バイオマスの利用、その課題と戦略」

(3) **事例発表**

- ① 地域循環型の森林資源の有効活用（15:25～）
北海道網走西部森づくりセンター普及課 林業改良指導員 栗田 健
② エネルギー自給のまちづくり（15:50～）
岩手県葛巻町環境エネルギー政策課 主事 下天 浩
③ 富士森林再生プロジェクトにおける生産性向上への取組（16:15～）
静岡県林業技術センター（森林育成スタッフ） 副主任 佐々木 重樹
④ 林業再生を目指した「長伐期林業と低コスト木材生産」について（16:40～）
愛知県新城設楽農林水産事務所新城林務課 技師 下田 基夫
⑤ 高密度作業路網を活用した森林管理（17:05～）
有限会社 原見林業（和歌山県） 原見 浩樹

6 **事例集の配布**

各都道府県及び各森林管理局より収集した事例を取りまとめた「林業機械化事例集」を配布する。